

完成した西
＝羽島郡笠井



松波総

西館は鉄骨一部鉄筋コン
クリート造り4階建てで、
延べ床面積約6300平方
米。総事業費は約4億円。
厚生労働省の「地域がん

県内総合

要をデジタル化する取り組
みの進捗状況などについ
て共有した。
連合会は、県環境整備事
業協同組合や県浄化槽保守

千畝顕彰 はじめの 一歩

来月で記念館開設25年、初代館長が講演

を目標にした記念館構想が
持ち上がる。
「杉原氏とその行為に迫
り、後世に伝える」「小さ
な町から世界に向けて平和

「この人はどういふや。
誰か知ってる人おるんか
？」杉原死去の翌日の19
果を3回にわたって広報誌
で紹介したのが、町の顕彰
新聞(現岐阜新聞)などに計
報が掲載された。文中に「八
百津町出身」とあったが、
町役場企画課にいた継続さ
た」。94年の「人道の丘公
園」開園に続き、生誕10
0年(2000年)の完成

第2次世界大戦中「命のヒ
ザ」で多くのユダヤ人を救っ
た加茂郡八百津町出身の外交
官を顕彰する「杉原千畝記念
館」が同町に設立されてから
来月で25年を迎える。開館時
に館長を務めた継続秀行さん
(73)＝同町＝は遺族や関係者
を訪ねては手探りで人物像に
迫っていた。今月6日に東
京都内で開かれた講演会で、
記念館の構想を練り上げた当
時を振り返った。(堀尚人)



開館25年を迎える杉原千畝記念館
＝2017年、岐阜郡八百津町(本
社小型無人機より)

計報に心当たりなく 頼りは学習雑誌

「八百津町から平和を発信」資料収集

が学んだ日露協会学校(後
山地区の母方の実家や杉原
連絡を取った。八百津町北
の岡本文良さんや編集者に
とが分かり、執筆した作家
給の特集が組まれていたこ
にした点にわたる。だが発
社刊)にインタビューを基
学習7月教材「(学習研究
行された学習雑誌「6年の
調べてみると、85年に発
った人は限られていた。
り、八百津町内で交流があ
名古屋へ転校を重ねてお
学生当時も中津川や桑名、
だった父親の転勤により小
の、八百津出身で税務署員
賞)」を贈られていたもの
義の人賞(ヤド・バシエム
政府から「諸国民の中の正
杉原は85年にイスラエル
人に心当たりはなかった。
町役場企画課にいた継続さ
た」。94年の「人道の丘公
園」開園に続き、生誕10
0年(2000年)の完成



顕彰の足掛かりになった学習雑誌を手に講演する継続秀行さん
＝東京都内

を達成した。継続さんは今
年は戦後80年だが、世界に
目を向けるとロシアとウク
ライナ、イスラエルとパレ
スチナなど各地で戦争紛争
が継続している。戦争の悲
惨さ、愚かさや認識され、
一日も早い平和が訪れるこ
とを人道の丘から発信した
い」と訴えた。
講演は杉原関係の書籍を
手掛け、展示品の説明文の
監修も担った大正出版(東
京)に事務局を置く「杉原
千畝研究会」が主催し、会
員約30人が聴き入った。同
会の渡辺千代子副代表は
行ったこともある。開設の
経緯など知らない話が多く
さんあった」と話した。

飛騨春慶塗の仏壇や職人
が使う道具などを展示する
「飛騨・仏壇ミュージアム」
が、高山市三福寺町の仏壇
製造「販売」「仏壇土芸はり
お」にオープンした。仏壇
の歴史や職人の技について
知ることができる。仏壇店
によるミュージアムは全国
的に珍しいという。

「私の関ヶ原」写真
あすから受賞作展
岐阜・中津川市
天下分け目の決戦の地と
して知られる不破郡関ヶ原
町の写真を募る「『私の関
ヶ原』写真コンテスト」の
過去受賞作品が、17日から
8月にかけて岐阜と中津川
の両市の3カ所で展示され
る。いずれも観覧無料。
会場は6月17、23日が岐
阜市大宮町の岐阜城楽市、
14日が中津川市新町の市ひ
と・まちテラス。
作品は2018～23年度
までの計3点で、各会場に
10～30点が展示される。
(西垣剛大)

高山に仏壇の博物館 「ほりお」店内 歴史や技紹介



仏壇に携わる職人が使っていた道具など
を展示している「飛騨・仏壇ミュージア
ム」＝高山市三福寺町、17日撮影＝がはい